科目名	単位数	科目名	教科書名
日本史Ａ	２	日本史Ａ	日本史Ａ新訂版 （清水書院）

授業の目標

１　我が国の近現代の歴史の展開を，諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け，現代の諸課題に着目して考察する。

２　歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きる国際人としての自覚と資質を養う。

３　主体的な歴史学習を通して，現代の日本と世界についての課題意識や思考力・判断力・表現力等を養う。

授業のすすめ方

１　主として講義形式で行います。重要事項を板書します。授業中の重要事項は必ず書き留めるようにしてください。書くことによって知識が定着します。頑張ってノートをとるようにしてください。書くことで記憶が定着します。

２　重要事項を暗記するだけではなく，歴史の全体像を把握することに努めてください。

学習上の留意点

１　歴史は科学です。原因・過程・結果の積み重ねが，教科書にまとめられています。人物名・事件名・年号などを暗記することも大切ですが，歴史事象の背景を理解することによって，歴史的思考力を養うことができます。授業ではそのことを意識して臨んでください。

２　歴史は人類の歩みを知る学問です。近現代の日本の歴史は戦争の歴史でもあります。「なぜ」戦争がおきたのか。戦争をふせぐにはどのようにすればよかったのか。過去から学び，未来に活かす，答えが歴史のなかにあります。「なぜ」の問いかけを常に持ち，主体的・能動的に日本史を学んでください。

評価

１　定期考査５回（１００点×５）・平常点（1 学期２０点＋2 学期２０点＋3 学期１０点）

２　平常点は授業中の態度を中心につけます。ノート検査，発問に対する解答状況等を評価します。

３　定期考査は授業内容から主に出題します。毎回の授業に集中し，教科書をしっかり読んでください。

授業計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	四月 五月 六月 七月	第１編　近代の日本と世界 第２章　明治維新と近代国家の形成 １　ペリー来航と日米和親条約 ２　通商条約の締結と安政の大獄 ３　貿易の影響と尊王攘夷 ４　倒幕運動の展開 ５　幕府の滅亡と新政府の成立 ６　近代国家の成立と国民の誕生 ７　地租改正と殖産興業 ８　文明開化 ９　明治初期の国際関係 10　国境の画定と北海道の開拓 11　不平士族の反乱と日朝修好条規	定期考査 授業中の姿勢	１　ペリー来航から日米和親条約にいたる対外情勢の動向と幕府の対応を考察する。 ２　江戸幕府の滅亡から明治新政府の成立にいたる経過を読み解く。 ３　版籍奉還・廃藩置県・四民平等などを通して明治新政府の政治理念を探求する。明治新政府の近代化政策とそれに対する民衆の動向に注目する。
二学期	九月 十月 十一月 十二月	第３章　立憲政体の成立と国際的地位の向上 １　自由民権運動と政党の結成 ２　松方財政と民権運動の激化 ３　立憲体制の確立 ４　初期議会と条約改正 ５　日清戦争 ６　日清戦争後の政治と日英同盟 ７　日露戦争 ８　ポーツマス条約と満州・樺太 ９　韓国の植民地化 10　近代産業の発展 11　社会問題の発生と政府の対応 12　明治の思想・学問・文化	定期考査 授業中の姿勢	１　自由民権運動が政府に何をもとめ、その結果どのような成果を得たのかを考察する。 ２　日清戦争が近代日本にどのような影響を与えたかを、アジア世界の視点で捉える。また，日清戦争後の内外情勢の変化や日露の対立の原因を広く世界の歴史に着目して考察する。 ３　日露戦争の結果、日本は世界でどのような地位を占めるようになったかを分析する。
三学期	一月 二月 三月	第２編　大戦期の世界と日本 第１章　第一次世界大戦と日本 １　護憲運動と大正デモクラシー ２　第一次大戦の参戦と国際関係の変化 ３　大戦景気と米騒動 ４　政党内閣の成立と戦後恐慌 ５　ヴェルサイユ体制 ６　国際連盟の成立とワシントン体制 ７　社会運動の高まり ８　関東大震災と政党内閣の時代 ９　大衆文化の成立	定期考査 授業中の姿勢	１　大正デモクラシーの意味とその展開過程を大観的に捉える。また，第一次世界大戦前後の国際情勢と我が国の対応の背景を分析する。 ２　さまざまな社会運動が高揚した時代背景を考察するとともに、その課題についても着目する。